

PowerAddress（以下 PA）をご利用いただき誠にありがとうございます。

my_database フォルダ内のファイルは、PA の住所録テーブルを任意の FileMaker ファイルで使うためのサンプルファイルです。ご利用の前に PA をバックアップすることをおすすめします。

■my_database フォルダ内のファイル

my_database1: 住所録テーブルをレイアウトに直接表示して操作する例

my_database2: ルックアップを設定して住所録テーブルの内容をコピーする例

my_database3: リレーションシップを設定して住所録テーブルを結合する例

ヘルプ) 住所録テーブルを任意の FileMaker ファイルで使う

<https://poweraddress.jp/help/usage/relational/>

使用方法

PowerAddress フォルダ内の main は FileMaker Pro で開く必要があります。使用手順は以下のとおりです。

■手順 1

my_database フォルダを任意の場所に設置します。

初期状態のまま使う場合は PowerAddress フォルダ内に設置してください。

他の場所に設置する場合は「ファイル> 管理> 外部データソース...」を開き、PA の main と data のパスを変更します。

■手順 2

my_database フォルダ内の my_database ファイルを開きます。

ダイアログで [OK] をクリックすると手順 2 で設定した PA が開きます。

■手順 3

レイアウトを切り替えてサンプルをご利用ください。自由に変更することができます。

【備考】

住所録テーブルを操作するには、PA が開いている必要があります。一旦開いた PA は、ウィンドウを閉じたり、Quit しても構いません。

my_database ファイルを開くと、このレイアウトが表示され、PA を開くための「初期処理」というスクリプトが実行されます。詳しくは「ファイル> ファイルオプション...」をご覧ください。スクリプトの詳細はスクリプトメニューをご覧ください。

リレーションシップグラフを開くには、「ファイル> 管理> データベース...」の「リレーション」タブをクリックします。

お問い合わせ

PowerAddress

<https://poweraddress.jp>

サポート

<https://poweraddress.jp/support/>

FAQ (よくある質問と答え)

<https://poweraddress.jp/faq/>

ヘルプ

<https://poweraddress.jp/help/>

Powershift (パワーシフト)

<https://powershift.ne.jp>
support@powershift.ne.jp

Copyright © 2000-2019 Powershift All Rights Reserved.